

令和4年度

学校経営方針

豊岡市立八条小学校

＜豊岡市の教育(第4次とよおか教育プラン…豊岡市教育振興基本計画) 令和2～6年度＞

ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成

～非認知能力(やり抜く力・自制心・協働性)を子どもたちに～

【豊岡南北中校区でめざす子ども像】

夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子

◆自ら考え、行動する子

◆心と体を鍛え、最後までやり抜く子

◆ふるさとを誇りに思い、ふるさとを語れる子

＜9年間で育てたい資質・能力＞

・自立する力 ・学ぶ力 ・課題解決の力 ・つながる力 ・未来を創る力

1 校訓 ～仲良く・正しく・力いっぱい～

2 学校教育の視点 ～常に子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育～

○「教育とは(教育の目的)」を常に自問する

○学校教育目標(学級目標)を軸足に置いた教育活動の実践(ねらいと振り返りの日常化)

○学びの環境を整える(子どもの学びを居心地よくつなぎ、学びに集中できる環境)

・八条小学校スタンダード(指導法・学び方をつなぐ)・安心安全な学校

○学校への信頼(子どもの姿)は、子どもに関わる教師一人一人の教師力とその総和であるチームとしての学校力

○行きたい学校(児童)行かせたい学校(家庭)応援したい学校(地域)勤めたい学校(職員)づくり

3 学校教育目標(知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指す)

「命が喜ぶ」生き方を考え、夢に向かって、

自分とふるさとの未来を切り拓く子の育成

～ふわふわ言葉やきらめき行動を通して～

→自分の命(心・体・頭)のより良い使い方を学び、考え、実践すること

「命が喜ぶ生き方」の実践者として、言葉や行動で表現することで**命の使い方**を学ぶ

・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう

・耳は、人の言葉を最後まで聴くために使おう ・目は、人の良いところを見るために使おう

・手足は、人を助けるために使おう ・心は、人の痛みが分かるために使おう

そして、**頭は、自分とふるさとの未来を切り拓くために使おう**

【目指す児童像】

・主体的に学び考え、進んで行動する児童(知)

・人を思いやり、元気なあいさつをかわす児童(徳)

・ふるさとを誇りに思い、ふるさとを語れる児童(徳)

・心と体をきたえ、最後までやりぬく児童(体)

・「命が喜ぶ」生き方を考え、実践する児童(知・徳・体)

【目指す学校像】

・常に明るく、生き生きと活気に満ちた学校

・常に美しく、安心・安全な学校

・子どもの心の居場所となる学校

・地域・保護者と手を携える学校

(地域に学び、信頼される学校)

【目指す教師像】

・児童の行動を価値づけ、意味づけできる教師(みつける、ほめる、みとめる)

・子どもに学ぶ喜びを味わわせることのできる教師(確かな授業のできる教師)

・子どもに寄り添い、子どもと共にある教師

・心身ともに健康で明るい教師